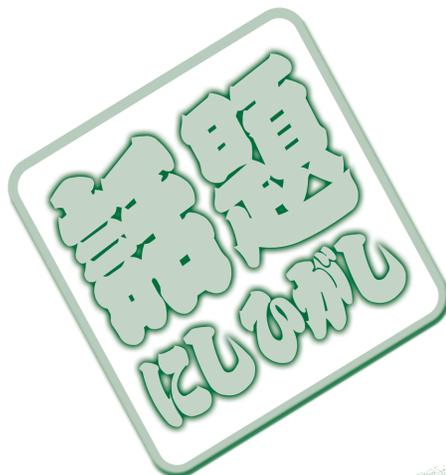


ことぶき大学が開講

町のお年寄りに学習や活動の場を提供し、健康で生きがいを持ってもらうことを目的とした「ことぶき大学」の第1回目の講座が7月5日（火）、町公民館で開かれました。

開講初日となったこの日は、世界大会など数々の大会で優勝し、国内外のさまざまな公演への出演経験を持つ、津軽三味線奏者の葛西頼之さんが講師を務め、自らの津軽三味線との出会いをテーマに講演。参加者に直接、三味線に触れてもらい音の出し方などを教えながら、三味線の楽しさを伝えていました。

今年度のことぶき大学は、受講者の「日常生活の充実」と「健康増進」を中心に、健康体操や認知症、高齢者の消費トラブルなどをテーマにした講座を行っていく予定です。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班（内線264）までお知らせください。



△受講者に津軽三味線の音の出し方を説明する葛西さん（右）

外国青年が津軽弁で寸劇

7月2日（土）、国際交流会館で「外国青年による津軽弁大会」が開かれ、町内外の国際交流員や外国語指導助手12人が津軽弁を交えた寸劇や歌、スピーチを披露しました。

大会は県内の外国青年に津軽弁をとおして津軽の文化を知ってもらおうと、当時の国際交流員が発案し今回で20回目を迎えました。

大賞は鶴田町での生活をテーマに、映画「スターウォーズ」の物語をアレンジした作品が受賞。東京での生活を夢見るレイア姫役のアンナ・クマシロさんの「鶴田はずっと私のふるさとだばって、他のどこで暮らせば鶴田のいいとこわかるかも」といったセリフが来場者の共感を呼びました。



△大賞の「スターウォーズ～新たなる希望～ in 鶴田」での一コマ

故郷に思いをさせ再会を喜ぶ

関東地方に住む鶴田町出身者でつくる「ふるさと鶴田会」(川村正五会長)の総会が7月9日(土)、東京グリーンパレス(千代田区麴町)で開かれ、約140人が故郷を懐かしみ、再会を喜びました。

川村会長は「私たち会員も鶴田町の発展のために今後も応援していきたい」とあいさつ。相川町長も「会員の皆さまには町の活性化のためにご協力してくださり感謝している」と述べました。

会場ではスチューベンを使ったお菓子やお酒などの特産品のほか、サクランボやみず、ほっけのすしなどを販売。アトラクションとして、スコップ三味線や津軽三味線の演奏、民謡や手踊りなどが披露され、会場を盛り上げていました。



△会場を盛り上げたスコップ三味線の演奏



△イベントを盛り上げた司会の乗田麻衣子さん(右)

町を盛り上げる青年部の納涼祭

7月17日(日)、町商工会青年部が主催する納涼祭「ふえすてまる in つるた」が町役場駐車場で開かれ、多くの家族連れなどでにぎわいました。

イベントでは、ビアガーデンや生バンド演奏、子どもも楽しめる輪投げやビンゴ大会などのゲームコーナーが行われ、司会をATV青森テレビ「わっち!!」でおなじみの乗田麻衣子さんが務めました。また、豪華商品が当たるオークションも行われ、参加者たちは声を張り上げ、家電製品や生活用品などお目当ての商品を競り合っていました。

ビンゴ大会で花火セットを獲得した小山内空さん(鶴田小2年)は「夏休み用にいいプレゼントをもらったので嬉しい」と笑顔で話していました。

交通事故のない町へ町民が決起

7月28日(木)、交通安全決起大会が国際交流会館で開かれ、参加した町民約250人が、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を誓いました。

大会では、交通事故ゼロに向け、町老人クラブ連合会の乗田勝雄会長が決意表明、サンシャインスクール児童代表の三浦心羽さんと奈良こころさんが誓いの言葉をそれぞれ述べました。また、県警音楽隊とカラーガード隊が演奏と演技でイベントを盛り上げたほか、参加者全員で交通安全を呼び掛ける町内パレードが行われました。

終了後は町交通安全協議会が街頭啓発を行い、ドライバーへ石村幸男さん(桂井)製作のマスコットを配りながら交通安全を呼び掛けました。



△丹頂大通りで参加者全員が行った交通安全パレード